

平成29年12月美馬市議会定例会議事日程（第4号）

平成29年12月19日（火）午前10時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名について

- 日程第 2 承認第 12号 専決処分の承認を求めることについて
（平成29年度美馬市一般会計補正予算（第4号））
- 議案第119号 美馬市子育て支援センター条例の制定について
- 議案第120号 美馬市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 議案第121号 美馬市職員の給与に関する条例の一部改正について
- 議案第122号 美馬市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 議案第123号 美馬市道の駅地域振興施設条例の一部改正について
- 議案第124号 美馬市地域交流センター条例の一部改正について
- 議案第125号 美馬市立幼稚園一時預かり事業実施条例の一部改正について
- 議案第126号 平成29年度美馬市一般会計補正予算（第5号）
- 議案第127号 平成29年度美馬市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第128号 平成29年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第129号 平成29年度美馬市水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第130号 平成29年度美馬市工業用水道事業会計補正予算（第1号）
- 議案第131号 徳島縣市町村総合事務組合規約の変更について
- 議案第132号 過疎地域自立促進計画の変更について
- 議案第133号 工事請負契約の変更について
- 議案第134号 市道路線の認定について
- 議案第135号 市道路線の廃止について
- 議案第136号 美馬市立脇町図書館の指定管理者の指定期間の変更について
- 議案第137号 美馬市都市公園の指定管理者の指定について
- 議案第138号 美馬市吉野川河畔ふれあい広場の指定管理者の指定について
- 議案第139号 美馬市放牧場の指定管理者の指定について
- 議案第140号 美馬市道の駅地域振興施設の指定管理者の指定について
- 議案第141号 美馬市買物支援施設の指定管理者の指定について
- 議案第142号 美馬市森林空間活用施設の指定管理者の指定について

議案第143号 水辺の楽校中鳥川公園の指定管理者の指定について

議案第144号 美馬市地域交流センター及び美馬市立図書館の指定管理者の指定について

日程第 3 発議第 3号 道路財特法における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書について

日程第 4 開会中の継続調査について

平成29年12月美馬市議会定例会会議録（第4号）

◎ 招集年月日 平成29年12月19日

◎ 招集場所 美馬市議会議場

◎ 開 議 午前10時00分

◎ 出席議員

1番	藤野 克彦	2番	浪越 憲一	3番	都築 正文
4番	田中 義美	5番	中川 重文	6番	林 茂
7番	武田 喜善	8番	郷司千亜紀	10番	井川 英秋
11番	西村 昌義	12番	国見 一	13番	久保田哲生
14番	片岡 栄一	15番	原 政義	16番	川西 仁
17番	三宅 共	18番	谷 明美	19番	前田 良平
20番	武田 保幸				

◎ 欠席議員

なし

◎ 地方自治法第121条の規定により説明のために出席した者の職氏名

市長	藤田 元治
副市長	加美 一成
副市長	七條 浩一
戦略監	浅野誠一郎
美来創生局長	上谷 敏也
企画総務部長	中川 貴志
保険福祉部長	四宮 明
市民環境部長	山田 一弘
経済建設部長	奥村 敏彦
水道部長	武田 光男
会計管理者	平井 佳史
消防長	武田 浩二
保険福祉部理事	川口 種満
美来創生局理事	矢田 孝志
木屋平総合支所長	江口 文之
企画総務部次長（企画政策課長事務取扱）	吉田 正孝
企画総務部秘書課長	渡邊 晴樹

代表監査委員	喜多 輝光
教育長	光山 利幸
副教育長	緒方 利春

◎ 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	住友 礼子
議会事務局次長	南 佳幸
議会事務局事務副主任	井手 和輝

◎ 議事日程

議長は、議事日程を別紙のとおり報告した。

◎ 会議録署名議員の氏名

議長は会議録署名議員に次の3名を指名した。

2番 浪越 憲一 議員

3番 都築 正文 議員

4番 田中 義美 議員

開議 午前10時00分

◎議長（久保田哲生議員）

皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。

それでは、本日の日程に入ります。本日の議事日程は、お手元にご配付の日程表のとおりでありますので、よろしく願いをいたします。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第88条の規定によりまして、2番 浪越憲一君、3番 都築正文君、4番 田中義美君を指名いたします。

次に、日程第2、承認第12号、専決処分の承認を求めることについて（平成29年度美馬市一般会計補正予算（第4号））から議案第144号、美馬市地域交流センター及び美馬市立図書館の指定管理者の指定についてまでの27件を一括し、議題といたします。

この件につきましては、所管の常任委員会に付託しておりますので、各委員長の報告を求めます。

開催順にお願いいたします。

初めに、産業常任委員会委員長、藤野克彦君。

◎1番（藤野克彦議員）

議長、1番。

◎議長（久保田哲生議員）

1番、藤野克彦君。

[1番 藤野克彦議員 登壇]

◎1番（藤野克彦議員）

それでは、議長のご指名がございましたので、産業常任委員会の審査結果につきましてご報告を申し上げます。

本委員会は今期定例会において付託されました議案第120号、美馬市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について及び議案第123号、美馬市道の駅地域振興施設条例の一部改正についての条例案件2件、議案第126号、平成29年度美馬市一般会計補正予算（第5号）のうち所管分、議案第129号、平成29年度美馬市水道事業会計補正予算（第1号）及び議案第130号、平成29年度美馬市工業用水道事業会計補正予算（第1号）の予算案件3件、議案第134号、市道路線の認定について及び議案第135号、市道路線の廃止について並びに議案第139号、美馬市放牧場の指定管理者の指定について、議案第140号、美馬市道の駅地域振興施設の指定管理者の指定について、議案第142号、美馬市森林空間活用施設の指定管理者の指定について及び議案第143号、水辺の楽校中鳥川公園の指定管理者の指定についてのその他案件6件、以上の合計11件について、審査のため去る12月11日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は私を含め6名であります。

付託されました議案の審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、議案第120号、美馬市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正については、委員から「条例のただし書きの中に予算の範囲内で規則に定める額を加算することができるかとあるがどういうことか」との質疑がありました。理事者からは、「農地利用最適化交付金事業が新設されたことに伴い、農業委員及び農地利用最適化推進委員が、農地利用の最適化に係る活動をした場合、活動実績に応じて1時間当たり1,000円、最大で月額6,000円を報酬に加算して支給するものである」との答弁がありました。

次に、議案第126号、平成29年度美馬市一般会計補正予算（第5号）のうち所管分では、農業振興費の中で、「青年就農給付金は今まで何名が利用しているか。また、5年間の補助終了後の状況は」との質疑がありました。理事者からは、「給付金受給者の延べ人数は21名であり、うち給付完了者6名については、市内で農業を営んでいる」との答弁がありました。また、委員から「給付が終わっても農業を辞めることなく、儲かる農業を目指すためには指導体制の強化が必要だと考えるが、市の考えは」との質疑がありました。理事者からは、「JA、農業支援センターと協力し、可能な補助金を活用しながら継続性のある農業経営ができるような指導を行っていきたい」との答弁がありました。

次に、同じく農業振興費の中で、「経営転換協力金とはどのような事業か。また、今までの実績は」との質疑がありました。理事者からは、「農地中間管理機構を通じて、担い手に貸し付けられた農地で、経営転換やリタイアする等の農業者に対し、一定の交付要件のもとで協力金を交付するものである。実績としては、平成27年度は2件で約0.5ヘクタール、平成28年度は10件で約3ヘクタールに対して交付している」との答弁がありました。

次に、林業振興費では、「森林クラウド実用化協議会の構成と内容及び負担金の総額は」との質疑がありました。理事者からは、「協議会は、県、市町村、徳島森林づくり推進機構から成り、市町村は8自治体が参加している。森林の集約化を進めるため、新たな森林管理手法の確立に向けた実証実験を含めて、ドローンの整備を行うもので、事業費の総額は900万円である。各自治体の負担金は、調査面積に応じて算出されている」との答弁がありました。

また、当委員会は調査未了の事件について閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、産業常任委員会の委員長報告を終わります。

◎議長（久保田哲生議員）

次に、福祉文教常任委員会委員長、林 茂君。

◎6番（林 茂議員）

議長、6番。

◎議長（久保田哲生議員）

6番、林 茂君。

[6番 林 茂議員 登壇]

◎6番（林 茂議員）

ただいま議長のご指名がございましたので、福祉文教常任委員会の審査結果につきまして、ご報告を申し上げます。

本委員会は、今期定例会において付託されました議案第119号、美馬市子育て支援センター条例の制定について及び議案第125号、美馬市立幼稚園一時預かり事業実施条例の一部改正についての条例案件2件、議案第126号、平成29年度美馬市一般会計補正予算（第5号）のうち所管分から議案第128号、平成29年度美馬市介護保険特別会計補正予算（第2号）までの予算案件3件、議案第136号、美馬市立脇町図書館の指定管理者の指定期間の変更についてから議案第138号、美馬市吉野川河畔ふれあい広場の指定管理者の指定についてまでのその他案件3件、以上の合計8件について、審査のため去る12月12日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含め7名であります。

付託されました議案の審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

また、当委員会に送付されておりました陳情書等2件につきましては、審査の結果、全議員に写しを配付し、今後の議会活動の参考とすることといたしましたので、よろしくお願いをいたします。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、議案第119号、美馬市子育て支援センター条例の制定については、委員から「子育て支援センターの運営内容は」との質疑がありました。理事者からは、「現在、脇町地区で実施している子育て支援拠点事業、美馬ファミリー・サポート・センター事業及び子育てフリースペース事業を地域交流センター2階に集約して運営を行う。それらに加え、天候に関係なく、子どもが遊べる場所を確保してほしいという要望があったことから、同施設に室内遊具を設置するなど、親子がゆっくり遊べる場としての機能を備える。開所日時は毎週火曜日及び年末年始以外の日の午前10時から午後7時までである。本市の子育て支援の拠点となるよう、様々な事業を行う予定である」との答弁がございました。

続いて、議案第125号、美馬市立幼稚園一時預かり事業実施条例の一部改正については、委員から「岩倉幼稚園の預かり保育が実施されるようになった経緯は」との質疑がありました。理事者からは、「岩倉幼稚園の園児については、預かり保育利用者数の関係上、合併後の預かり保育開始当初からセンター方式により脇町幼稚園で実施していた。このたび保護者から強い要望があり、他園の運営実績から岩倉幼稚園でも預かり保育が実施できると判断したため、実施することに至った」との答弁がございました。

続いて、議案第126号、平成29年度美馬市一般会計補正予算（第5号）のうち所管分では、委員から「脇町老人福祉センター改修工事設計委託料に関しては、改修工事と建てかえ工事を比較して、どのような差があり、改修工事に至ったのか」との質疑がありました。理事者からは「脇町老人福祉センターを解体し、同じ延床面積で建てかえる費用を

算定した場合、解体費用も含め約8億9,000万円程度かかる。また、現在の建物には地下室があり、解体の際には振動の発生や地盤に影響することが想定されるため、近隣住宅に悪影響を及ぼすリスクが高い。以上のことから、建てかえよりも安価でベターな選択である」との答弁がありました。

また、当委員会は調査未了の事件について閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、福祉文教常任委員会の委員長の報告を終わります。どうぞよろしく申し上げます。

◎議長（久保田哲生議員）

次に、総務常任委員会委員長、中川重文君。

◎5番（中川重文議員）

議長、5番。

◎議長（久保田哲生議員）

5番、中川重文君。

[5番 中川重文議員 登壇]

◎5番（中川重文議員）

ただいま、議長よりご指名がございましたので、総務常任委員会の審査結果をご報告させていただきます。

本委員会は、平成29年12月定例会において付託されました承認第12号、専決処分の承認を求めることについて（平成29年度美馬市一般会計補正予算（第4号））の承認案件1件、議案第121号、美馬市職員の給与に関する条例の一部改正について、議案第122号、美馬市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について及び議案第124号、美馬市地域交流センター条例の一部改正についての条例案件3件、議案第126号、平成29年度美馬市一般会計補正予算（第5号）のうち所管分の予算案件1件、議案第131号、徳島州市町村総合事務組合規約の変更についてから議案第133号、工事請負契約の変更について、並びに議案第141号、美馬市買物支援施設の指定管理者の指定について、及び議案第144号、美馬市地域交流センター及び美馬市立図書館の指定管理者の指定についての、その他案件5件、併せて10件について審査のため、去る12月13日に委員会を開催いたしました。

出席の委員は、私を含め6名であります。

付託されました議案審査に当たり、詳細なる説明を求め、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり承認及び可決すべきものと決定いたしました。

それでは、質疑の内容について、その一部を報告いたします。

まず、議案第124号、美馬市地域交流センター条例の一部改正についてでは、委員から「市民ホールの使用料は近隣ホールの使用料を参考にしているとのことではあるが、減免あるいは補助はないのか」また、「使用料は市の収入となるのか」との質疑がありました。理事者からは、「原則、使用の対価として利益者負担をお願いすることとしているが、規則整理を行い、市主催行事や各種団体の成果発表の場合等については、免除または減免

することを検討中である。

また、使用料については、当初2年間は、使用料実績を把握するため、利用料金制は導入せず、市の収入とする」との答弁がありました。

次に、議案第126号、平成29年度美馬市一般会計補正予算（第5号）のうち所管分で、「個人情報保護対策に係る経費を計上しているが、今回の予算計上分で個人情報の保護は守られるのか」との質疑がありました。理事者からは、「今回計上している予算は個人情報保護委員会による指摘によるものと再発防止のためのものである。チェック体制を強化するために機械的なコンピューター上のチェックを行い、再度人が確認をしていく。例えば、転職等で事業所を変更された方がコンピューターで抽出され、それを人が確認する。このように、確認作業が分かりやすくするためのシステム改修であり、チェック体制を強化していくための予算である」との答弁がありました。

次に、議案第133号、工事請負契約の変更については、委員から、「美馬市地域交流センター整備工事で駐車場やバスの駐車スペースはどのようになっているのか」との質疑があり、理事者からは、「ショッピングセンター時代は屋上を含め740台のスペースがあったが、地下の駐車場がホールの床部分になることや、屋上についても各施設の様々な室外機等の機械を備えているので今回の整備工事では、420台になりますが、敷地内の駐車場の整備や駐車区画の見直しにより、少しでも多く駐車できるようにしたい。また、バスについては、駐車スペースではなく、回転ができるスペースを確保するための工事であり、乗客が下車した後は、道の駅の東側駐車場に移動していただくことを想定している」との答弁がありました。

次に、議案第144号、美馬市地域交流センター及び美馬市立図書館の指定管理者の指定については、委員から、「指定管理者の募集を行った際、年間の指定管理料の内訳として、こちら側が示した数値目標と事業者の提案内容は」との質疑があり、理事者側からは、「指定管理者の公募に当たり要綱や業務の基準を示し、その中で金額を提示している部分がある。例えば、ホール事業では、年間500万円以上の事業を、図書の購入については、600万円以上を、図書館の事業として50万円以上の事業を実施することを指定し、公募を行った。その他指定管理料の約半分が人件費、残りが施設の清掃や維持管理の経費として見込んでいます。また、事業提案として、全国規模で活躍している劇団の公演や有名人のトークショーなどが提案されているので、指定管理者の決定後は早急に実施時期などを調整し、決定次第、広く周知していきたい」との答弁がありました。

次に、委員から、「管理基準として、必要に応じてモニタリングを実施することになっているがどのような場合を想定しているのか」との質疑があり、理事者からは「月次報告書は毎月提出することになっているが、市のモニタリングは市民から苦情があったときなど、必要に応じて実施する。また、それとは別に、指定管理者においても自らモニタリングを実施する」との答弁がありました。

以上、質疑内容の一部と答弁の報告であります。

また、当委員会は調査未了の事件について閉会中の継続調査を決定し、議長まで申出書を提出いたしました。

以上で、総務常任委員会委員長としてご報告を終わりとさせていただきます。

◎議長（久保田哲生議員）

以上で、各常任委員会委員長の報告は終わりました。

これより、ただいまの各委員長報告に対する質疑に入ります。

ただいまのところ、質疑の通告はありませんので、質疑なしと認め、委員長報告に対する質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

ただいまのところ、討論の通告はありませんので、討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより採決をいたします。

まず、承認第12号、専決処分の承認を求めることについて（平成29年度美馬市一般会計補正予算（第4号））について採決を行います。

承認第12号の委員長報告は原案承認であります。

お諮りいたします。承認第12号は委員長報告のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、承認第12号は、原案のとおり承認されました。

次に、議案第119号、美馬市子育て支援センター条例の制定についてから、議案第144号、美馬市地域交流センター及び美馬市立図書館の指定管理者の指定についての26件について、一括採決を行います。

議案第119号から議案第144号の26件については、委員長報告はいずれも原案可決であります。

お諮りいたします。議案第119号から議案第144号の26件については各委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、議案119号から議案第144号までの26件については、原案のとおり可決されました。

次に、日程第3、発議第3号、道路財特法における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書についてを議題といたします。

議案の朗読を省略し、提案理由の説明を求めます。

産業常任委員会委員長、藤野克彦君。

◎1番（藤野克彦議員）

議長、1番。

◎議長（久保田哲生議員）

1番、藤野克彦君。

◎1番（藤野克彦議員）

それでは、議長のご指名がございましたので、提案理由の説明をさせていただきます。

ただいま、上程いただきました発議第3号、道路財特法における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書について、美馬市議会会議規則第14条第2項の規定により、産業常任委員会として提出するものであります。

本文の朗読を省略し、提案理由の説明をいたします。

現在、国においては、道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律、いわゆる道路財特法の規定により、道路整備事業の補助率等の嵩上げが実施されていますが、この法律は平成29年度までの時限措置であります。

厳しい財政状況の中、地方創生に全力を挙げている本市にとりまして、平成30年度からこの補助率が軽減されることは死活問題であり、今後の道路整備に大きく支障を来すものであります。

よって、平成30年度以降も現行制度を継続するよう国に強く要望するものであります。

なお、詳細につきましては、意見書をごらんいただきたいと思います。

以上で提案理由の説明を終わります。

ご審議いただき、ご賛同賜りますようよろしくお願いいたします。

◎議長（久保田哲生議員）

以上で発議の趣旨説明は終わりました。

これより発議第3号に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

◎議長（久保田哲生議員）

質疑なしと認め、発議第3号に対する質疑を終結いたします。

これより、討論に入ります。

討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより、採決いたします。

お諮りいたします。発議第3号について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、発議第3号は原案のとおり可決されました。

ただいま可決されました意見書につきましては、直ちに関係機関に送付いたします。

次に、日程第4、閉会中の継続調査についてを議題といたします。

お手元にご配付をいたしておりますとおり、閉会中の継続調査について、申出書が提出されています。

お諮りいたします。継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中

の継続調査に付することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（久保田哲生議員）

異議なしと認めます。よって、継続調査については、各委員長の申出書のとおり、それぞれ閉会中の継続調査に付することに決定をいたしました。

以上をもちまして、本定例会に付議されました事件は全て議了いたしました。

閉会に当たりまして、市長よりご挨拶をいただきます。

◎市長（藤田元治君）

議長。

◎議長（久保田哲生議員）

藤田市長。

[市長 藤田元治君 登壇]

◎市長（藤田元治君）

平成29年12月美馬市議会定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

本定例会も本日最終日を迎えましたが、議員各位におかれましては、市政各般にわたり終始熱心にご審議を賜り、提案をいたしました議案等につきましては、全て原案のとおりご承認及びご可決をいただき、熱くお礼を申し上げます。

ご審議を通じまして、議員各位から賜りました数々の貴重なご意見、ご提言につきましては十分に検討いたしまして、今後の市政運営に反映させてまいりたいと思っております。

さて、今月21日に、本市と鳴門教育大学との間におきまして、両者が包括的な連携のもと、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする「連携協力に関する協定」を締結することとなりましたので、ご報告を申し上げます。

本市では、平成32年度から、小学校5・6年生の正式な教科となります英語教育の円滑な実施に向け、平成30年度からの先行実施を行うなど、0歳児に始まり、小学校、そして中学校までの切れ目のない一貫した特色のある英語教育に取り組むことといたしております。

このたびの鳴門教育大学との具体的な連携内容につきましては、先ほど申し上げました0歳児から中学校卒業までの一貫した特色のある英語教育を円滑に実施していくため、本市に対するご支援をいただくものであります。

こうした鳴門教育大学との連携のもとで、県内でもトップクラスの教育環境を整備し、国際社会で活躍できる人材を育成することによりまして、「一步先の確かな未来」につながるよう、更なる英語教育の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、今月27日に、本市と株式会社ナプラとの間におきまして、同社の工場等の増設に関する覚書を締結することとなりましたので、ご報告を申し上げます。

ご案内のとおり株式会社ナプラは、本市の脇町に工場を設置されている業務用ヘアケア製品の製造販売の国内トップメーカーでございますが、現在の工場等の北側の土地に発送センターと資材倉庫を集約し、製造工場を拡張される計画があることをお伺いいたしまし

た。このたびの覚書におきましては、株式会社ナプラが必要とされる約5,000平方メートルの用地につきまして、本市において取得し、造成を行った後、同社に売却し、引き渡すことといたしております。この支援は本市の強みであります化学産業における雇用の拡大につながる生産基盤の充実を図るために行うものであります。

このことは、地方創生「県西部の中核地点」としての美馬市創生の実現に向けまして、大きな朗報でありますことから、議員各位を始め、地元住民の皆様方や関係機関などの皆様方に対し、十分にご説明やご協議をさせていただきながら事業を推進してまいりたいと考えております。

なお、今後におきましては、必要な事業費が確定されてまいります段階で、随時、予算を計上させていただきたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

結びとなりますが、報道機関の皆様方のご協力に対しましても厚くお礼を申し上げたいと存じます。今年も残すところあとわずかとなりましたが、議員各位を始め市民の皆様方におかれましては、健やかに輝かしい新年を迎えられますことを心からご祈念を申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

大変ありがとうございました。

◎議長（久保田哲生議員）

平成29年12月美馬市議会定例会の閉会に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

議員各位におかれましては、去る11月の28日の開会以来、本日まで22日間にわたり、終始ご熱心にご審議を賜り、全ての案件を議了いただきましたことを、厚く御礼を申し上げます。

なお、市長を始め理事者各位におかれましては、審査過程におきまして議員各位から表明されました意見や要望を今後の市政運営に十分反映されますよう、お願いいたします。また、閉会中におきましても各委員会の継続調査が予定されております。

皆様方には、市政発展のためにますますご活躍を賜りますようご祈念申し上げまして、閉会の挨拶といたします。

これもちまして、平成29年12月美馬市議会定例会を閉会といたします。

閉会 午前10時35分

会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

平成29年12月19日

美馬市議会議長

美馬市議会副議長

会議録署名議員 2番

会議録署名議員 3番

会議録署名議員 4番